

平成 28 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	広島市立みどり坂小学校		
学校長氏名	丹 雅祥	栄養教諭氏名	笠井 純子
職員数	76名	児童・生徒数	1109名

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

本校は、児童 1100 人で、学級数 37 給食調理員 10 名の大規模項校である。
 残食率は、主食 0.7% 副食 0.6%と低い数値で保っている。しかしながら、食事のマナーが守れていない児童が多いという反省があり、今年は食事のマナーについて取り組んだ。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

重点目標の 1 つは、健康や運動に関心を持ち、健康でたくましい体力づくりを目指す。評価指標として

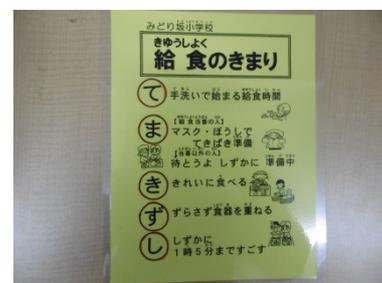
- ・給食のきまり「てまきずし」を守って給食を食べることができた児童の割合を 70%以上にする。
- ・訪問給食やランチルーム給食、食に関する指導を通して給食のマナーの向上や食に対する自己管理能力を高めるために、てまきずしと食に関する指導を実践した職員の数をふやす。の 2 つをあげて取り組んだ。

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組 1】（テーマ） 給食のきまり「てまきずし」

- ・給食のきまりを覚えやすいように、子どもたちの大好きな てまきずしに合わせた。

- て** 手洗いで始まる給食時間
ま 給食当番 マスク・帽子でてまき準備
 給食当番 待とうよ 静かに準備中
き きれいに食べる
ず ずらさず食器を重ねる
し 静かに 1 時 5 分までですごす



- ・教室に常時掲示し、給食時間にふりかえる。

【取組 2】（テーマ） 教職員 食育研修

- ・夏季休業中に教職員対象の食育研修会を開き、給食室で調理体験をした。
- ・グループに分かれて、広島カレーライスと 1 年国語科にてでくる「りっちゃんのサラダ」を調理した。
- ・給食の調理作業における作業工程表・作業動線などの衛生管理についてパワーポイントで説明した。
- ・学級での給食指導に生かされ、食に関する意識が高まった。



【取組3】(テーマ) 給食指導の充実

- ・年度当初 今年度は、給食のきまり「てまきずし」を守るを目指して、意識統一を図った。
- ・食育月間と給食週間に給食委員会活動を通して、マナーカードを配布し「てまきずし」が守れているかどうか調査を行った。
- ・訪問給食やランチルーム給食を行い、「てまきずし」を指導した。
- ・給食週間に給食展を実施し、担任が「てまきずし」を指導した。
- ・給食試食会に保護者に食事のマナーやはしの使い方の話をした。



4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

- ・広島市の栄養士で資料を作成し、それを活用して掲示資料を作成した。
- ・10月の食育だよりで家庭に知らせ、レシピと共に「つくレポ」という用紙をつけて、家庭から返事をもらうようにした。
- ・親子料理教室で、ひろしま給食のメニューを4品作り、学校のホームページの食育トピックスに公開した。
- ・学区内のスーパーに取り組みの掲示物とリーフレットを置かせてもらい、地域と連携することができた。
- ・「タコタコライス」を食べた人は118人で、作った人が380人になった。

5 取組に対する成果と課題

【成果】

- ・児童アンケートでは、「てまきずし」を守って、給食を食べることができていると、肯定的評価をしている児童が中間評価 92%に比べて95%とあがり、マナーが守れるようになった。
- ・職員全員が学級でマナーの指導をし、食に関する指導を実践できた。

【課題】

- ・児童アンケートでは、食事のマナー「てまきずし」は低学年の児童はほとんど守られていたが、高学年になるほど数値が下がってくるので、これからも引き続き指導が必要である。

6 今後の取組に向けた改善方策について

- ・食事のマナーはだんだんと身につけてきたが、主食・主菜・副菜のそろった朝ごはんなどバランスのとれた食べ方の定着がまだまだなので、これから取り組んでいきたい。
- ・食に関する意識と関心をさらに高め、感謝の気持ちを持って食事をする児童をふやすような取り組みを継続していきたい。